

令和3年第1回定例会 武岡議員の一般質問に対する答弁について

日時 令和3年3月4日(木)午前10時

質問事項	市長答弁
新型コロナウイルスワクチン接種について	
本市におけるワクチン接種体制の確保については国の基本的な方針に沿って進められていると思いますが、その進捗状況を伺います。	国の方針が流動的であるため、計画が立て難い面はありますが、判明している範囲における進捗は、概ね順調です。ワクチン接種に向けて、接種体制の整備、接種券などの通知、接種手続きに関する相談への対応、会場の確保などに取り組んでいます。
市としての接種順位は、1.医療従事者・救急隊員、2.高齢者及び基礎疾患のある方、3.高齢者施設の従事者、4.それ以外の方となっておりますが、それぞれの対象者は何人おられ、それぞれの接種が開始される具体的な時期はいつになると想定されているか伺います。	まず事実を確認しておくとして、接種順位は国が示しており、各自治体が設定することは想定されていません。対象者について、医療従事者並びに救急隊員の接種は、県が主体で実施するため、市医師会が県と協議を進めており、市では把握していません。65歳以上の高齢者は、令和3年1月1日現在で11,175人です。基礎疾患のある方は、20歳から64歳では人口の6.3%と国から概算がでており、これで計算すると、790人となります。高齢者施設の従事者数は、現在集計中です。接種の開始時期は、接種券を3月中旬以降で発送するよう、国の指示がありますが、ワクチン確保の課題から流動的です。接種券を市民の皆さまに送付した後、接種予約をしていただき、接種となりますので、早くても4月以降になると想定しています。
予約受付については、コールセンターやラインにより対応するとされておりますが、何処に開設され、どのような体制で対応されるのか伺います。	予約受付は、広島県が開発する「県一括Web予約システム」と、本市が設置するコールセンターの併用を検討しています。短期間に多数の受付ができるよう、Webと電話を活用する考えです。
接種会場及び接種方法は、各町1会場において、医師会及び委託事業者による集団接種を予定されているとのことですが、市内の医療機関における個別接種の併用は検討されたのか伺います。	まず、より多くの人が接種できる環境を整備する必要があるため、各町に1会場を設置した集団接種を考えています。その上で、会場に来ることができない方には、かかりつけ医のもとで個別接種も提供できるよう、市医師会と協議を進めているところです。
集団接種にあたっては、予め、ワクチン接種訓練を行い、万全を期す必要があると考えますが、その認識を伺います。	すでに国や幾つかの自治体でシミュレーションが行われ、県内でも医療従事者の先行接種が進んでいます。これらを参考にし、準備を整えていく方針です。接種訓練自体が負担になるので、医師会との協議を踏まえて対応したいと考えています。
結婚サポート事業について	
市は、次年度より結婚サポート事業をコーディネーター連絡会議において、廃止する意向を示されたと聞きましたが、事実かどうか伺います。もし事実であれば、その理由を伺います。	結婚縁結び事業は、新年度より廃止します。理由は3つあります。 ① 結婚という極めて個人的な話に公が関与する理由は本来ありません。少子化対策などと謳ってしまうばかりに、個人の価値観に対する無用の介入を招いていると考えます。 ② 結婚至上主義は有害です。行政が関われば、結婚しなければならない、子どもを持たなければならない、という強迫観念を助長しかねません。結婚できない人、子どもを持たない人もまた同様に尊重されるべきです。 ③ マイノリティーへの配慮を欠いています。異性婚を前提とした事業は、公共性を損なっているとの考えです。
少子化が叫ばれる中であって、ボランティア精神による結婚コーディネーターの皆様のご尽力により、これまでに58組のペアが結婚に繋がったと伺っております。人口減少に歯止めがかからない本市にとって、この事業は人口増加に大きく貢献し、極めて有効な施策と考えますが市長の認識を伺います。	「極めて有効」という根拠は見当たりません。事実、この10年間で人口は約4,300人も減少しています。なお、本事業で結婚された方の平均年齢は男性が37.8歳、女性33.7歳です。年齢層からして、本事業がなくとも他で結婚されていた可能性は十分あります。この事業が何かしらの縁になったのは大変喜ばしい限りです。ただ、冷静にみれば、行政サービスとして高い評価はできません。人口減少自体を問題とするのではなく、人口減少によって生じる不具合を解決すべき課題と捉え、取り組んでいく方針です。